

日射調整フィルム助成金申請時に、第三者機関の証明書の添付が不要なフィルム

令和7年4月1日現在

(環境省の環境技術実証事業において、一般財団法人 建材試験センター等が実証試験を行い、結果を公表しているもの及び、港区で既に証明書を確認済みのものであり、特定の企業の製品を推奨するものではありません。)

メーカー名 (順不同)	フィルム名	遮蔽係数 ※1	可視光線透過率 ※2	熱貫流率 ※3
旭硝子株式会社	日射調整フィルム HX-3	0.57	74.3	5.7
株式会社サイバーレックス	SL7480	0.66	74.6	5.5
スリーエム ジャパン株式会社	IR65CLAR	0.61	68.7	5.6
スリーエム ジャパン株式会社	LE70CLAR	0.67	75.2	4.7
スリーエム ジャパン株式会社	マルチレイヤーナノ80S Nano80S	0.68	84.1	5.6
スリーエム ジャパン株式会社	マルチレイヤーナノ70S Nano70S	0.63	74	5.5
住友理工株式会社	高透明熱線反射・断熱フィルム 「リフレシャイン」 TW32	0.68	75.2	4.7
サンゴバン株式会社	Solar Gard LX70	0.58	73.3	5.7
サンゴバン株式会社	Solar Gard Ecolux 70	0.59	68.3	3.8
NI帝人商事株式会社	高透明熱線反射・断熱フィルム 「レフテル」 ZC05G	0.62	69.5	4.4
NI帝人商事株式会社	高透明熱線反射・断熱フィルム 「レフテル」 ZH05G	0.62	68.2	5.7
三晶株式会社	マディコ WIN70	0.65	68.7	5.6
リンテック株式会社	ウインコス レフテルZH05G	0.6	68.2	5.8
リンテック株式会社	ウインコス レフテルWH03	0.67	75.1	5.8
リンテック株式会社	ウインコス ヒートカットHCN-70G	0.63	72.4	5.7
株式会社サンゲツ	コア70	0.69	72.4	5.5
株式会社サンゲツ	ビスト65	0.64	67.8	5.7
株式会社サンゲツ	エコリム70	0.61	68.2	4.6

※1 遮蔽係数とは、日差しの暑さを遮る効果を見る指標です。値が低いほど日射の侵入が少なくなり、夏の冷房負荷の低減に効果があります。

※2 可視光線透過率とは、室内に入る明るさを見る指標です。値が高いほど採光性が高く、室内に昼光を取り入れて、室内を明るくすることができます。

※3 熱貫流率とは、ガラスにフィルムを貼付した場合の断熱性能を見る指標です。値が低いほど熱を伝えにくく、断熱性能に優れ、冷暖房の効果が高まります。

<留意点>

- ・上記はJISA5759に基づく耐候性試験後の数値です。
- ・フィルム施工によって、窓ガラスがさい。熱割れをおこす場合がありますので、事前にフィルムメーカー・施工業者に十分確認してください。

- ・上記以外のフィルムで申請される場合には、基準を満たしていることが確認できる第三者機関の証明書を添付してください。
- ・港区の規定では、JISA5759(建築窓ガラス用フィルム)に基づき測定された結果(初期値)、遮蔽係数が0.7未満、可視光線透過率65%以上、熱貫流率5.9W/m²・K未満であると第三者機関により証明されていること、かつJISA5759に規定された耐候性試験において200時間以上の試験を実施し、遮蔽係数の変化が試験前の基準から±0.10の範囲であることが要件となっています。